



領内小学校だより

令和4年度 第3号

令和4年7月20日発行

いい顔 いい汗 いい心

稲沢市立領内小学校
校長 五十住 健吾

充実した夏休みを



長い長い1学期だったような気がします。ほんの3か月前なのに、ずいぶん昔のように思います。

4月当初、6年生が新学期準備で活躍し、入学式では、元気いっぱいの1年生を迎えることができました。

始業式を終え、学校生活が始まると、新しい出会いがありました。その中で学級の係、学級委員、通学班、委員会、クラブ等、新しい編成での活動が始まり、多くの子が大なり小なりの“長”になりました。あまりリーダーになったことのない子にとっては、戸惑うこともありました。よい経験になっています。様々な活動をする中で、子どもたちは成功、失敗の経験を積み、いろいろと学んでくれたことでしょう。

学校行事に目を向けると、1学期はこれまでできなかった行事を行うことができました。5月に実施した「環境整備奉仕作業」、6月には「交通安全教室」「福祉実践教室」を実施できました。いずれも3年ぶりの開催です。今後は、5年生の「野外教育活動」を8月3日(水)・4日(木)に実施する予定です。夏休み中の全校登校日にはPTA「ふるさと文庫」の開館、毎週土曜日には地域の方に

よる森上公民館の開放「領内寺子屋」もあります。8月28日(日)には「PTA環境整備作業」も予定されています。

さて、いよいよ明日から夏休みが始まり、学校生活の時間が家庭生活の時間に変わります。子どもたちにとって興味のあることや、やってみたかったことに挑戦する絶好のチャンスでもあります。裏面で少し触れていますが、何か一つは「こんなことに挑戦したよ」と言える夏休みにしたいものです。健康的で安全な生活に心がけ、充実した夏休みを過ごしてほしいと思います。

福祉実践教室

6月23日(木)に「福祉実践教室」を行いました。14名の方々を講師にお招きし、手話、車椅子、盲人ガイド等について4年生以上の児童が学びました。「少しの段差だったから簡単だと思ったけれど、車椅子を動かすのはとても大変だった。」「目隠しをして歩き始めると怖かったけれど、ガイドが案内してくれると少し安心できた。」等、体験活動を交えて教科書では得ることのできない学び



ができました。

1学期を振り返って

子どもたちは自分の目標に向け、よく努力しました。1学期という区切りを大切にして振り返りをし、その後の学校生活に活かしてほしいと思います。終業式では、「1学期を振り返って」として、代表児童からの発表がありました。発表の一部を紹介します。

私が児童会の運営委員として頑張ったことは、3つあります。1つ目は児童集会です。児童集会はテレビ放送で行います。私はテレビがつくと、すごく緊張して足がすくんでしまいました。でも、他の仲間たちが頑張っているのを見て、「自分も負けてられない」と思い、みんなに負けなくらい大きな声を出しました。2つ目は、1年生を迎える会です。児童会の仲間と役割を決め、本番ではリハーサルと同じ大きな声で話すことができました。3つ目は代表委員会です。4年生以上の学級委員が集まる大きな会ですが、自分の意見を言おうと頑張りました。私はみんなの役に立つために一生懸命に頑張りました。友達からお礼を言われたら心が温かくなって、もっと頑張れそうだという力がわきました。

僕は6年生になってできるようになったことがあります。それはあいさつです。ぼくは児童会に立候補して、当選することができました。児童会には朝に旗を上げて夕方に下げる仕事があります。ぼくは職員室へ旗を取りに行くときに「おはようございます」と元気よくあいさつをしてから旗を取るようになりました。あいさつをすると、とても気持ちが良いと感じたので、自分からするようになりました。さらに、児童会で企画した「あいさつピンゴカードを行ったことで、全校の人が元気よくあいさつをするようになって、学校がより明るくなった気がします。これからも、自分のために、みんなのためにできることを考えて、チャレンジしたいです。

親にとっての夏休みは…。

子どもたちにとっては楽しい夏休みも、親の立場では気の休まらない息苦しい夏休みになるかもしれません。兄弟げんかの仲裁、朝早くからのラジオ体操、交通事故（自転車乗り）の心配、夏休みの課題のこと、毎日のおやつのこと…。考えたらきりがありません。

でも、考えてみれば、子どもが本当に親を頼りにして甘えるのは、せいぜい小学校高学年のころまでのような気がします。中学生になれば、部活動が忙しくなったり照れや反発心（もう芽生えている子もいるようですが）が芽生えたりして、親と一緒に行動をとることも少なくなるでしょう。

子どもとどっぷりつきあえるのは今のうち。そう思ってここで一つ気持ちを切りかえ親子ともに楽しい夏休みになるように、いろいろと工夫してみてはいかがでしょうか。

- 日頃できない体験をさせてみる。
- お手伝いではなく、責任のある仕事として与えてみる。
- 体力作りとして、いろいろな運動に挑戦させてみる。
- ねばり強く学習に取り組む習慣をつけるなど。

終わりに

保護者の皆様からは、コロナ感染拡大防止対策や熱中症対策等、子どもたちの安心・安全のための取組に、ご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。2学期もよろしくお願いたします。